



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukuyadai>

# 学校だより

令和5年10月31日

11月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

## 小さな努力の積み上げ

副校長 竹内 智子



左の写真、これは本校のトンネル門を歩いてすぐのところにある「イロハモミジ」の葉です。葉の近くに小さなブーメランのようなものがついているのが、わかりますか？これは、イロハモミジの「タネ」です。

私は、朝、門で子どもたちを迎える際、なんとなくこの木を眺めてきました。だいぶ前からこの「タネ」には気づいていましたが、ずっと、緑色のまま。それが数日前、ほんのり赤く色づいていたのです。イロハモミジの「タネ」が飛び立つ日は、近いのでしょうか。もう少し観察を続けてみることにします。

学校では、10月28日（土）に、「ヨコスポ2023」が行われました。今年度は、制限を気にすることなく運動会が実施できたことを本当にうれしく思うとともに、多くの皆様に見守られて、子どもたちの一生懸命な姿を見ていただけたこと、深く感謝申し上げます。

全校で並び入場する、力いっぱい走る、気持ちを合わせて演技する、大きな声で応援する等、運動会ではどれも当たり前前の活動のように思えますが、実はここ数年の様々な制限の中で育ってきた子どもたちにとっては、大きな運動会そのものが初めてであったり、久しぶりだったりという子もいます。不安な気持ちをもっていても少なからずいたと思います。しかし、当日に至るまでに、何度も練習を繰り返していく中で、声が大きく出せるようになったり、演技に自信がもてるようになったりしながら、みんなの気持ちが一つになっていくことも実感し迎えた本番が、「ヨコスポ2023」当日の子どもたちの姿です。また今年は、たてわり種目として、1～6年生のたてわり班で、長縄にも挑戦しました。回る縄を飛び越えていく上級生を見て「自分も！」と縄に飛び込んでいく1年生とそれを励ます上級生の子どもたちの姿を見ながら、ヨコスポ2023スローガン「協力 ～勝ち負けを気にせず 全校のみんなで盛り上がり～」が形となって表れていた一場面であったのではないかと思います。

その3日前、3年生は「戸塚区 児童音楽会」に代表として参加しました。実は3年生、9月から運動会と歌の練習の両方に取り組んでいました。10月25日（水）の全校朝会では、全校児童と3年生保護者を前に発表がありましたが、とても澄んだ歌声と身体全体を使って気持ちを一つに合わせて表現したりリズム打ちに、体育館全体が、すてきな雰囲気になりました。きっと、ここに至るまでには、何度も練習を繰り返したことだろうと思います。

子どもたちは、様々な活動を通して、「自分の力を発揮する」ことや「みんなで力を合わせる」ことを経験していきます。誰にでも得意不得意はあり、頑張っているその表面に見える形もそれぞれ違います。子ども自身、納得がいくまでには時間がかかることもあります。でも、小さな努力を積み重ねていった先に感じた「達成感」は、本人の「力」となります。そのような体験ができるよう、今後も子どもたちを見守っていきます。